

令和7年度 英語科及びデジタル科実施状況について

(別紙2)

金沢市立富樫小学校

①児童アンケート

(1) 英語科(小学校5年生:令和8年1月実施) (%)

		そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	そう思わない	無回答
問1	英語科の勉強が好きだ。	30.0	30.0	24.0	7.0	0.0
問2	英語科の勉強は大切だ。	80.0	17.0	2.0	0.0	0.0
問3	英語科の授業の内容が分かる。	61.0	24.0	11.0	4.0	0.0
問4	先生や友達に英語で質問することができる。	50.0	30.0	11.0	9.0	0.0
問5	先生や友達の英語の質問に英語で答えることができる。	50.0	30.0	13.0	7.0	0.0
問6	アルファベットの大文字が書ける。	78.0	13.0	4.0	4.0	0.0
問7	アルファベットの小文字が書ける。	74.0	20.0	4.0	2.0	0.0
問8	教科書やピクチャーディクショナリーの単語や英文を書き写すことができる。	57.0	26.0	17.0	0.0	0.0
問9	教科書の単語や英文を読むことができる。	43.0	39.0	13.0	4.0	0.0

(2) デジタル科(小学校1～6年生:令和8年3月実施)

		そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらとも言えない	どちらかと言えば そう思う	そう思うわない
問1	自分やみんなのことを考えてICTを使うことができる。	57.8	26.5	11.8	2.3	1.6
問2	生活の中で上手にICTを使うことができる。	55.0	24.6	17.8	1.0	1.6
問3	深く広く学習するためにICTを使うことができる。	61.4	24.0	11.7	1.6	1.3

②指導改善の具体策

【英語科】 英語の重要性を十分理解はしているが、英語が好きな児童が少ない。このことから、授業の方向性を知識の集積や形式的な正確さを求めるのではなく、「楽しい」「もっと～してみたい」と思うような、ゲーム形式の活動やイラストを多く活用していく活動などを取り入れていく。
【デジタル科】 ICT活用に対して苦手意識をもっている児童が2～4%いる。授業中、ICTサポーターと連携して対象児童への個別巡回・声かけを増やしていく。また、「できた!」を実感できるよう、スモールステップでの課題提示と丁寧な解説を行う。

③学校関係者評価

英語の授業内容が分かると回答している児童が6割いるか、好きだと回答している児童が少ない。好きになってくれる児童が増えるとうい。 SNSを通してのトラブルやいじめが起こるのではないかと心配である。児童が十分な知識がないままスマートフォンを操作し、情報のやり取りを友達と行い問題となることがあるのではないか。
